

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基本とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の三項目を教育目標とする。

- 思いやりのある子 …自分に自信をもち、友だちを大切にできる子
- よく考える子 …めあてをもち、意欲的に学習する子
- たくましい子 …あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

| | |
|---------|---|
| ○学校像 | <ul style="list-style-type: none"> ○子供が学びたくなる、明るく楽しい学校 ○保護者や地域の方が通わせたい学校 ○教職員が協働し、充実感と誇りをもてる学校 |
| ○児童・生徒像 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分に自信をもち、友だちを大切にできる子 ○めあてをもち、意欲的に学習する子 ○あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子 |
| ○教師像 | <ul style="list-style-type: none"> ○子供のよさを認め・伸ばし、情熱をもって育むという信念をもつ教職員 ○協働性を重んじ組織の一員として自己の職責を果たすことができる教職員 ○授業力向上のために、努力を惜しまない教員 ○課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出すことができる教職員 ○考えや発想を、適時実践に移すとともに、自己評価を適切に行い研鑽する教職員 |

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

○学校の現状について

令和8年3月現在、601名の児童が在籍している。令和8年度も100名弱の新1年を迎え18学級のスタートを予定している。また、特別支援教室には40名を超す児童が入室予定となっている。これまで中核を担っていた複数の教員の異動があり組織の再構築が求められている。基本的には素直で明るく挨拶が飛び交う子供たちあるが、一部落ち着かない学年があり対応に追われている現状もある。学力に関しては、現状維持もしくは一部の学年で課題が残っている。

令和8年4月に新たに加わる教職員はもとより、改めて教職員集団の協働性を育み、常に協働性と組織的対応、学校として、共通の指導観をもって職務を遂行し保護者・地域から信頼を得る学校運営を実現していきたい。そのためには、校長が明確な経営方針を発信し、副校長・主幹教諭を組織の要として他の教職員を導けるようにしていかななくてはならないと考えている。教員同士が互いに声を掛け合い、専門性を生かして研鑽し合い指導力を高め合える教員集団を目指したい。

これからもライフ・ワーク・バランスを保ちながら教育の質の担保等、人員が入れ変わっていく中でも、学校教育全般が円滑に進められるよう全教員で取り組んでいく。引き続き多様な人との関りを意図的に展開した教育活動を充実させるとともに、子供たちに最良の教育を提供していきたい。

重点的な取組事項ー1 人権と生命を尊重する教育

「学校は楽しい」の項目は自己評価90.5%、達成基準94%を3.5ポイント下回る結果となった。コロナ禍を経験した児童の中には、人との関わりが円滑にできなかったりコミュニケーションが十分に取らなかったりしている状況があり、多様な人との関りを教育活動全体の中で意図的に設定することにより望ましい人間関係の醸成を育んでいる。また、引き続き人権教育や道徳教育の充実、ふれあい月間、読書活動、たてわり班活動、音楽集会・鑑賞教室等による「心の教育」の充実も図っている。加えて、学習指導や生活指導においてもクラスの枠を超えた教員も子供たちも含めた多様な人との関りを通して重点事項に掲げた目標数値の達成を目指している。

多くの子供たちが「学校が楽しい」と回答しているものの十分でないことを謙虚に受け止め、引き続き多様な人との関りの中で、生活指導の基本方針に掲げている「み・そ・あ・じ」の取組を中心に指導していくとともに、今後も多様な人との関りを意図的に設定し子供同士や教員との望ましい人間関係の構築を目指し、全ての子供たちが楽しい学校生活であるよう引き続き規律ある行動ができるよう学校全体で指導していく。

重点的な取組事項ー2 基礎的・基本的な学力の定着(学力向上アクションプラン)

区学力調査通過率80%以上を目指してきた。結果、通過率は国語83.1%、算数は84.3%で目標を達成することができた。9月に実施した再テストの通過率についても国語88.8%、算数90.8%と、いずれも1回目の通過率から5ポイント以上伸ばすことができた。放課後学習教室での内容の精選や、学力調査によるSP表分析を基にした学力向上プランを計画・実施したことがこの結果につながったと考えられる。

来年度以降も、学力向上に向けた取り組みを進めつつ、家庭での学習習慣の定着が図れるようにしていく。

また、教員同士で授業を見合うことで教員の授業力向上も図っていく。

重点的な取組事項ー3 体力向上に向けた取組の推進

本校の重点としていた握力はどの学年も都の平均を下回った。持久力は5学年、投力は2学年都の平均を上回ることができた。「加平ギネス」コーナーで良い記録を収めた児童を紹介することで、それを目標に頑張ろうとする意識が身に付いてきた。握力、投力については、記録を向上につながるような補助運動を取り入れたり、教員の指導力を高める実技研修を行っていったりしていく必要がある。

また体力向上の取組として、体育の授業や休み時間に季節ごとに実施している「エンジョイタイム(ロング昼休み)」「らんらんタイム」「大縄チャレンジ」「短縄の取組」、外遊びを推奨し体を動かす機会を意図的に設定し体力向上と健康な体づくりに努めている。しかし、初夏から秋まで猛暑・酷暑が続き外で遊ぶことができず十分な体力向上に至らなかった。保健指導は、計測時に行う保健指導や保健だよりによる啓発、区の保健所と連携した歯科指導、食育指導については、輪番制で実施を再開したランチルーム給食、給食だよりによる食育指導など充実を図ってきた。常にPDCA(計画→実践→評価→改善)のサイクルで改善し続けてきたことで成果を上げている。

今年度も常にPDCAサイクルを大切に取組の充実に努めたい。加えて、体力調査の結果から課題を焦点化し、体育の授業の改善、日常の運動する機会の設定等を実施していくことで子供たちの体力向上を目指したい。また、一層、保健指導・食育指導の充実を図りたい。

重点的な取組事項—4 地域の特色にあった魅力ある教育活動の展開及び持続可能な学校運営の実現

魅力ある教育活動として、例えば、地域にある「六町駅前安全安心ステーション(ろくまる)」を活用した教育活動や「開かれた学校づくり協議会」の皆様のお力を借りて、伝統の「加平みそづくり」「漢字検定」「算数検定」等を実施することができた。各学年、地域にある境域資源を活用し、様々な取り組みを行うことができた。また、全学年、毎日、タブレット端末を持ち帰りタブレット端末を活用した家庭学習も実施できた。加えて、今年度は多様な人との関りの取組の一つとして、たてわり班活動において、障害者の有無に関わらず誰もが楽しめる障害者スポーツ「ボッチャ」の取組を行った。

今後も、障害者の有無に関わらず誰もが楽しめる障害者スポーツ、「ボッチャ」を通じた交流活動を全校で実施していくことで共生社会の意義を理解させたい。更に、俳句や「加平小かるた」、「あだち環境かるた」の活用や席書会の実施等、伝統的な言語文化に関する指導を通して古典に親しみながら我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を育むなどの教育活動を展開したい。引き続き地域の特色にあった魅力ある教育活動を展開するとともに、「開かれた学校づくり協議会」と連携して、学校・家庭・地域の連携・協働を高め、地域と共に育てる教育の推進と特色ある学校づくり、持続可能な学校運営の実現を目指したい。

4 重点的な取組事項

| | 内 容 | 実施期間（年度） R:令和 | | | | |
|---|------------------------------------|---------------|-----|-----|-----|------|
| | | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 | R 10 |
| 1 | 学力向上アクションプラン(基礎的・基本的な学力の定着) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 人権と生命を尊重する教育 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 体力向上に向けた取組の推進 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 4 | 地域の特色にあった魅力ある教育活動の展開及び持続可能な学校運営の実現 | ○ | ○ | ○ | | |

5 令和8年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1 | | 学力向上アクションプラン | | | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------------|--|--|---|------------------------------|--|-----------|-------------|-------------|--|--|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 (目標通過率) | | 実施結果 (通過率結果) | | コメント・課題 | | 達成度 ◎○△● | | | |
| 基礎的基本的な学力の定着 (研究・学力PT) | | ・区学力調査目標 通過率 国語・算数 各 82%以上 ・9月 到達目標 全体 通過率 国語・算数 各 87%以上 | | 自己評価の際に記入 | | | | | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | | | | | |
| 新規・継続 | アクションプラン | 対象学年 実施教科 | 頻度・ 実施時期 | 具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように) | 達成確認 方法 | 達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度) | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 ◎○△● | | |
| | 朝学習の 充実 朝授業 (国語)の 充実 | 全学年 算数 国語 | 毎週 水曜日 (算) 火・金曜 日(国) 朝15分 | 【指導体制】 担任+専科による 【ねらい・使用教材】 ・学習内容の復習 ・算数 東京ベーシックドリル ・国語 漢字ドリル | 東京 ベーシック ドリル 漢字小テスト | 算数 前年度までの内容 12月までに 100問以上 国語 月に1回漢字小 テスト(百点満点)に取り組み、 毎月80点以上が7割以上 | 自己評価の際に記入 | | | | |

| | | | | | | |
|------------------------|--------------|---------------------------|--|---------------------------------|--|------------------|
| 放課後補充教室 算数 (全教職員) | 目標値未 満の児童 | 隔週 月曜日 放課後 20分 | 【指導体制】 担任+専科 【ねらい・使用教材】 ・つまずきに応じた指導 ・区学力調査問題、過去問題 ・ AIドリル | 区学力調査 定着度 確認テスト (9月実施) | 4月の学力テスト結果点 数より2ポイント以上が、 対象児童全体の7割以 上 | 自己評価の際に記入 |
| 「家庭学習の 手引き」の活 用 | 全児童 | 年3回 | 【ねらい・目的】 ・「家庭学習の手引き」の配布 (4月)、啓発 (6月・9月・11 月) ・宿題の提出率把握と指導 | 宿題提出 状況調査 | 宿題提出率 1回目85%以上 2 回目 88%以上 3 回目90%以上 | |
| 家庭学習の充 実 | 全児童 | 毎日 | 【ねらい】 基礎学力の定着を図る取組 の一つとして、家庭にタブレッ トを毎日持ち帰り AI ドリルに 取り組ませる。 | 実施状況 | 低学年(1~3年) 毎日10分以上 高学年(4~6年) 毎日15分以上 | |
| 授業力向上 (研究・学力 PT) | 教員 | 年3回 (11月 までに2 回) | 【取り組みのねらい・目的】 ・管理職、教科指導専門員 による授業指導3回以上 | 授業研究実施 | 足立スタンダード虎の 巻を生かした授業アン ケートを6回提出 | |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|----|------------|---|------|--|--|--|--|
| 学習における ICT の効果的活用 (教務・特活 PT) | 教員 | 週3回以上の端末活用 | 【ねらい】 足立区教育 DX 推進プランにおける目指す児童像 「考える!協働する!表現する!自ら学びを深めるあだちの子」に基づき、教員が ICT 機器を効果的に活用して授業を進める。 | 実施状況 | 教員への ICT 活用アンケート 児童生徒が自分で調べる場面 自分の特性や理解度・進度に 合わせて課題に取り組む場面 を週3回以上実施しているかについて の肯定的評価 90% | | | |
|------------------------------|----|------------|---|------|--|--|--|--|

| | | | | | | | | |
|-------------------------|---|--|--|-------------|--|----------------|------------|--|
| 重点的な取組事項－2 | | 人権と生命を尊重する教育 | | | | | | |
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | | 実施結果 | | コメント・課題 | 達成度 | |
| 自己肯定感・思いやりの心を育てる (各 PT) | | 「楽しく学校生活を送っている」 自己評価93%以上 | | 自己評価の際に記入 | | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | | 実施結果 | | コメント・課題 | 達成度 | |
| 読書活動の充実 (研究・学力 PT) | ・児童アンケート「楽しんで読書できたか」自己評価 80%以上 ・読書カードに読んだ類に印をつけて、5種類の本を読めた 自己評価 80% ・年間 2 回以上は調べる学習を行う。 | ・図書ボランティア、教員や図書委員会による読み聞かせを年 10 回行う。 ・読書タイムの時間 (15 分) 自席で読書をする。(週 5 回) (全学級週 1 回以上は図書室を割り当てる。) ・旬間中は、目標冊数 (低 10 冊・中 200 ページ・高 300 ページ) に向けて読書をする。 (読書旬間 6 月と11月と1月) ⇒読んだ本の感想などを読書カードに記入する。 ・わかったことカードを年 2 回記入する。 | | 自己評価の際に記入 | | | | |

| | | | | | | |
|-------------------------------|--|---|---|--|--|--|
| <p>なかよし標語 (生活・体力 PT)</p> | <p>児童アンケート 「友達に優しくできた」 肯定的評価95%以上</p> | <p>テーマを決めて児童に言葉を書かせ、期間中掲示する。年2回 5月「言われた相手がうれしい気持ちになる言葉」 10月「みんながうれしい気持ちになるために自分にできること」 ハート型の用紙を連ねて廊下に掲示する。1年生は用紙を切ることが難しいため、6年生が切ってあげる。1年生はそのお礼をして交流してもよいこととする。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | | |
| <p>あいさつ運動 (生活・体力 PT)</p> | <p>生活習慣チェック(年3回)「自分からすすんであいさつをした」 肯定的評価95%以上</p> | <p>看護当番(日直)が毎朝昇降口前に立ち、登校を見守りながら児童に挨拶をする。(通年) 輪番制で学級ごとにあいさつ当番として登校時にあいさつ運動を行う。(年1回、1週間ずつ) 学校公開期間中は開かれた学校づくり協議会やPTAの役員の方にあいさつ運動に参加していただく(年2回)</p> | | | | |
| <p>道徳教育の充実 (研究・学力 PT)</p> | <p>「ふりかえりカード」(児童アンケート)実施 「友達と仲良く助け合うことができた」「友達やクラス、学校のために行動することができた。」 肯定的評価 85%以上</p> | <p>毎週1時間の道徳授業を要に全教育活動で実施 【指導体制】 全教職員 【取り組みのねらい・目的】 ・思いやりの心を育む。 ・人権・生命尊重に関する授業を年3回実施 ・道徳地区公開講座の実施 ・道徳授業地区公開講座で心に関わる掲示をする。</p> | | | | |

| 重点的な取組事項－3 | | 体力向上に向けた取組の推進 | | | |
|--------------------------------|--|--|--|---------|-----|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 健康な体づくり (教務・特活 PT、生活・体力 PT) | | <p>○体力・運動能力調査結果 握力・長座体前屈・反復横跳びの3種目を都の平均に近づける</p> <p>○たてわり班活動のポッチャをはじめとした異学年交流の中で、体を動かして遊ぶ楽しさを味合わせる</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 健康な体づくり (生活・体力 PT) | 外遊びを進んでする運動することが好き 自己評価90% 以上 | <p>外遊びの奨励 エンジョイタイムの実施 (年10回) 長縄跳び(年4回) らんらんタイムの取組(年5回) 体育朝会(年2回)</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | |
| 体力・運動能力調査 (生活・体力 PT) | <p>体力・運動能力調査結果で、握力・長座体前屈・反復横跳びを都・全国の平均に近づける。 数値の変化で考察する。</p> | <p>調査結果を基にして強化領域の決定</p> <p style="padding-left: 20px;">体育指導技術向上のための実技研修(年3回: 体づくり運動、器械運動等)</p> <p>体力調査の運動につながる体育的活動や運動する機会を創出する。</p> <p>・全学年が取り組める体力が高まる場の提案</p> | | | |
| 食育の推進 (生活・体力 PT) | 食育指導の実施 | <p>・栄養教諭によるランチルーム給食時の食育指導実施 (各学年3回以上)</p> <p>・担任(専科教諭)と栄養教諭の連携授業(食に関する指導) (各学年1回以上)</p> | | | |

| | | | | | |
|--------------------|---------|---|--|--|--|
| 保健指導 (生活・体力 PT) | 保健指導の実施 | 担任と養護教諭の連携授業 ・保健指導(3・4年各1回) 発育測定時の保健指導実施 (全学年 年3回) 歯みがき指導 ・養護教諭による(3年) ・歯科衛生士による(1・5年) ・全国歯みがき大会参加(6年) | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | |
|--------------------|---------|---|--|--|--|

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|----------------|------------|
| 重点的な取組事項－4 | | 地域の特色にあった魅力ある教育活動の展開及び持続可能な学校運営の実現 | | | |
| A 今年度の成果目標 | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 | |
| 魅力ある教育活動の展開 (生活・体力 PT) | 児童会では、年3回の拡大代表委員会を中心に、各委員会の委員長が協力して加平小学校や地域に貢献できる活動を行う。 展覧会では、各学年テーマをもって制作・表現に取り組む。 家庭科の連合展と家庭科・図工科の都展では、児童の作品を六町フローラル及び東京都美術館に展示する。 学校と企業が連携し、各教科の学習の中で出前授業を複数回実施する。 「合唱団」1を週2回運営し、年4回地域のコンサートに参加している。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 伝統的な言語文化に関する指導 (教務・特活 PT) | 席書会の実施(参加率9割以上) かるた、百人一首等の実施状況(前期・後期1回ずつ、計2回)により考察 | 書写(硬筆・毛筆)指導 「加平小かるた」(低) 「あだち環境かるた」(中) 「百人一首」(高)の活用 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | |

| | | | |
|---|------------------|---|--|
| <p>「六町駅前安全安心ステーション(通称「ろくまる」)をはじめとした近隣施設を活用した授業展開を行う」 (研究・学力 PT)</p> | <p>・各学年の実施状況</p> | <p>・全学年が教科等の関連を明らかにした教育活動を11月までに実施する。 <ろくまるの活用> 1年生：道徳 「じぶんのすきな町」…学区内を中心に、自分のすきな町を紹介し合う。 2年生：生活科 「どきどき わくわく まちたんけん」… 「ろくまる」に見学に行く。 3年生：社会科、総合的な学習 「事故から地域の安全を守る」…「ろくまる」と警察との違いを調べる。 4年生：外国語活動 「お気に入りの場所を紹介しよう」…学校から「ろくまる」までの道を案内する。 5年生：算数科 「直方体や立方体の体積」…ろくまるの大きさを予想しよう。 6年生：総合的な学習 「よりよい未来を創ろう！未来プロジェクト」…「ろくまる」の人は、どのような思いで仕事しているかインタビューしよう。 <近隣施設の活用> 全学年：保塚図書館…お話し会、団体貸出しの利用 3年生：小松菜農園の見学、スーパーマーケットの見学</p> | <div data-bbox="1451 646 1832 699" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自己評価の際に記入</p> </div> |
|---|------------------|---|--|

| | | | |
|--|--|---|---|
| <p>タブレット端末を活用した ICT 教育の推進 (教務・特活 PT)</p> | <p>実施状況で考察する。 ・年3回教員を対象にした OJT 研修を実施 ・家庭学習におけるタブレット端末の活用 ・AIドリルの活用</p> | <p>・年に3回(年度初め・夏休み・冬休みを目安に)、教員を対象にした OJT 研修を実施する。 ・全学年、毎日のタブレット端末の持ち帰り、AIドリルや家庭学習カードの参照にて使用する。 ・AIドリルの活用を促進する。</p> | |
| <p>地域との連携 (生活・体カ PT)</p> | <p>実施状況で考察する。</p> | <p>開かれた学校推進協議会と共催で「加平みそづくり」「漢字検定」「算数検定」「茶道教室」「落語教室」を開催する。 周年で頂いたメッセージボードを委員会等でのポスター掲示に活用する。 年に1度「クリーン作戦」を実施し、全児童と保護者、地域の方々と協力し郊外清掃を行う。 消防・警察の方と連携した避難訓練・消防写生会を行う。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> |
| <p>「加平小学校 2020 レガシー」 (生活・体カ PT)</p> | <p>実施状況で考察する。</p> | <p>「障害者理解」に関する具体的な取組として、障害者の有無に関わらず誰もが楽しめる障害者スポーツ、ボッチャを通じた交流活動を実施することで共生社会の意義を理解させる。 全学年でボッチャを実施 縦割り班活動においてボッチャ大会を実施</p> | |

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。